

2021年9月30日

洛和会 京都音楽療法研究センター 御中

和田義孝様 柴田恵美様

初めまして。私は中西浩之と言います。山科区 に住んでいます。私も私の両親も、洛和会音羽病院には大変お世話になってきました。本当にありがとうございました。

私の両親もちょうど10年前の2011年、2012年にかけて、相次いで亡くなり、現在、妻の両親と同居しています。その両親も今年89歳と83歳になり、ここ最近、寄る年波には勝てないことを目の当たりに見えています。

内閣府のお知らせによりますと、令和24(2042)年以降は65歳以上人口が減少に転じても高齢化率は上昇を続け、令和47(2065)年には38.4%に達して、国民の約2.6人に1人が65歳以上の者となる社会が到来すると推計されています。嬉しいことに日本も福祉が充実してきましたので、現在、両親はケアマネを通して様々なサポートをしていただいています。

さて、ここ最近、「NHK みんなで長生き！」を見ていました。そうしますと、和田様と柴田様が出演されていました。その綺麗な歌声と素敵な笑顔に、更に洛和会が近いので、とても親近感を感じました。同時に、音楽療法そのものがあることを初めて知りました。

音楽には私たちの心や精神、身体や認知に働きかける力があるのですね。私が愛読している雑誌には、一人の人気作詞家の名言を引用していました。

「歌詞は考えを刺激する。曲は感情を刺激する。歌は考えと感情の両方を刺激する」。

京都音楽療法研究センターのホームページにもグッとくるフレーズがありました。

「音楽には情緒を発散させるカタルシス効果がある」ーアリストテレス。

また、和田様のモットーは、「どこの病院でも音楽療法を受けられる世の中にしたい！」という広い心を持って、日本、いや世界中の高齢者に寄り添うお気持ちをお持ちなんですね。

柴田様のモットーは、「生まれた瞬間から人生の最後まで音楽で寄り添う」なんですね。学問には、数学、図学など「学」が付きますが、音楽が「楽」なのは、興味深いです。やはり、人生は楽しみたいですし、音楽は誘い水となります。そう考えますと、これからますます音楽療法のニーズが高まりますね。

では、高齢者や病気と闘っておられる方々に寄り添い、慰め、元気付けるため、日夜、奮闘されているお二人、並びにセンターの皆さま、お身体にくれぐれもお気をつけてくださいませ。

心からの感謝を込めて
中西浩之